

質 問 者 鈴 木 公 義

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 人口減少対策について	国立社会保障・人口問題研究所の「将来推計人口」
	では、2050年の宮城県の人口が182万人という予測
	がされました。前回に比べ減少スピードが加速して
	います。県内市町村別の推計では、本町は52.4%減
	の3062人になり、減少率は県内で4番目となってい
	ます。
	(1) 本町での人口減少に対する見解、移住施策等
	の人口減少対策を伺います。
	(2) 活性化により、人口減少対策の一助となりう
	る町民会議のこれまでの動きについて伺います。
2 水産振興について	(質問の相手：町長・担当課長)
	近年の地球温暖化の影響と見られる周辺の海水温
	度の変化により、本町の水産業にも不気味な影が近
	づいています。サンマの不漁、小型船によるイサダ
	漁等春漁の不漁もあり、水産加工業者の原料不足が
	見られます。水産養殖にいては、ホタテ、カキ、ホ
	ヤ等へい死が多くなっています。昨年の夏は、地球
	沸騰化という言葉も生まれました。
	(1) 水産加工業者、流通業者に対し、行政として
	できることは。

質 問 者 鈴 木 公 義

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 能登半島に思いを馳せて	(2) 漁業、水産養殖業者に対する施策は。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	1月1日に発生した地震により、甚大な被害を受けた能登半島に向けて各地、各方面から支援の輪が広がってきているところです。
	(1) これまでの本町の動きと今後の支援計画は。
	(2) 復興期において、震災を経験した本町だからこそできる助言や、反省点を伝えることができると思いますが。
	(質問の相手：町長・担当課長)